

5月は青少年奉仕月間

RI 第2820地区

水海道ロータリークラブ



インスピレーションになる



2018-2019 年度 RI 会長 バリー・ランシン

例会予定 5月22日 外部卓話 茨城県議会議員 飯田智男様
5月29日 観劇会振替

VOL.56 No. 35 (通算No. 2593)

2019年5月15日(水) 例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA 報告

諸 報 告

幹 事 報 告

会 長 挨 拶

会 員 卓 話 小林聡司会員、中山英俊会員



写真提供者:和久事務局

2018-2019年度 会 長 染 谷 秀 雄 幹 事 古 矢 満

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3階

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3階

TEL 0297-30-0875

Fax 0297-30-0876

Email mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido~rc.jp/>

5月は青少年奉仕月間

例会報告 VOL.56 No. 34 (No.2592) 5月8日(水) 晴れ (司会 鈴木勝久委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎ロータリー情報委員会 インフォーマル・ミーティング

北村 仁会員・鈴木邦彦会員・松坂興一会員

ビジター

米山奨学生 林 友超君



2014年9月に来日しました。小学生のころから日本の文化には興味がありました。

一年間宜しくお願いします、

カウンセラーは秋田政夫会員です。

誕生祝



《会員》石塚利明会員 青木清人会員

《ご夫人》大串会員

諸報告

親睦活動委員会 鯉沼敦規委員長

5月11日(土)観劇会です。バスの出発時間は、白井石油さん前14時です。

宜しくお願い致します。

幹事報告 古矢 満幹事

週報受理クラブ 水戸RC、水戸西RC

例会変更通知 なし

会長挨拶 染谷秀雄会長



令和元年、最初のご挨拶を申し上げます。

本日は米山奨学生のリン・ユウチョウさん、ようこそお越しくございました。会員一同歓迎申し上げます。

今年の5月連休は元号の改元もあり10連休という大型連休となりました。この大型連休中にお出かけになった方もいたかと思います。私も娘が久しぶりに帰って来ましたので、ドライブがてら千葉の方へ行ってきました。予想に反して、

5月は青少年奉仕月間

道路の渋滞もさほど無く、スムーズに目的地へと行くことが出来ました。

また、この連休中にツウンバRCのジェフ・コラードさんご夫妻が4月30日から5月5日まで日本にツアーで来られるというメールを頂き、是非、水海道クラブの方とお会いしたいとのことでしたので、私と瀬戸会長エレクト、大澤国際奉仕委員長とで、滞在先のホテルへ向かいました。しかし、ご夫妻はバスで富士山へ観光に行かれ、帰りは6時50分の到着予定ということでしたが、待てど暮らせど、なかなかバスが到着しません。結局お会いできたのは3時間後の10時半ぐらいで、お土産を渡し、立ち話でツウンバRCに今度、訪問したいと伝え、帰って来ました。どうやら、海外の旅行会社は、日本の大型連休中の交通渋滞が予測できなかったようで、次の日には、渋滞の中、日立海浜公園に行くという計画でした。



さて、今日の例会は、海老原ロータリー情報委員長のもと、【水海道RCのこれまで、そして、これから】と題してインフォーマル・ミーティングを行います。例年、入会3年未満の会員を対象として、会場を設けてオリエンテーションを行っていましたが、今年は、北村PG、鈴木邦彦会員、松坂興一会員にご協力いただき、通常例会で全会員に話を聞いていただきたいと、海老原委員長に相談をしました。水海道ロータリークラブ56年という歴史の中で、我々が知らないこと、これまでどのような活動をしてきたか、そういったことも聞けるのではないかと思います。

新入会員はもちろんのこと、それ以外の会員の方々にも、これからロータリー活動をして行くうえで、大変、参考になるかと思しますので、大先輩方の話を興味深く聞いてほしいと思います。

ロータリー情報委員会 インフォーマル・ミーティング



令和元年・水海道RCインフォーマル・ミーティング開催にあたり

テーマ「水海道RC これまで そして これから」

ロータリー情報委員会委員長 海老原良夫

『始まりは明治38年』

明治38年(1905年)2月23日。米国シカゴで37歳の青年弁護士ポール・ハリスは世界初のロータリークラブを設立しました。その明治38年、ハリスと同年の一人の日本人青年はハリスと共に、この年の世界の歴史にその名を遺しました。ハリスより1週間早く四国伊予松山にて、この世に生を享けたその日本人の名は秋山真之。

ポール・ハリス、秋山真之、奇しくも同年37歳の日米2人の青年は片方、国際ロータリーの創始者として、此方日露戦争における日本の政略上の勝利を決定付けた日本海海戦の作戦担当参謀として共に歴史に名を刻みました。※連合艦隊司令長官東郷平八郎が「智謀如湧」(ちぼうわくがごとし)と秋山真之の作戦立案能力を評価したことのみならず秋山は後に「秋山文学」と高い評価を受けることになる名作家・文章家でもありました。日本海海戦出撃の際の報告電報の一節である『本日天気晴朗ナレドモ浪高シ』漢字

5月は青少年奉仕月間

を含めて13文字は短い文章の名文として。またZ旗の信号文『皇国ノ興廃此ノ一戦ニ在リ、各員一層奮励努力セヨ』も秋山の作。日本海海戦に勝利した東郷平八郎の連合艦隊解散式の訓示(最後の締めめの文章は『古人曰ク勝テ兜ノ緒ヲ締メヨト』と結ばれている)この文章に感動した米国セオドア・ルーズベルトは全文英訳させて米国海軍に頒布した、この草稿も秋山が起草。※

明治38年、RI創立の年。日米2人の青年、ポール・ハリスと秋山真之が遺した功績の、その日米の彼我の差に当時の両国の国情の差異を垣間見る思いがします。

そして明治38年2月。日本の一隅の小都市に過ぎない水海道の八百市呉服店の店頭風景を写し撮った一葉が、当時の日本国の実情であったことを雄弁に物語っているのです。



明治38年(1905年)旧正月2日。水海道の八百市呉服店の店頭風景。立看板に旧正月2日、日露戦捷記念の文字が読み取れる。この頃、水海道は水戸、太田、石岡らと並んで商業一等地にランクされ高瀬舟舟運による鬼怒川水運の一大要衝の地として栄えていた。

同年すなわち明治38年(1905年)2月23日、米国シカゴで青年弁護士ポール・ハリスは世界初のロータリークラブを設立していた。

『明治38年。ポール・ハリスが米国シカゴに灯したロータリーの炎は、やがて日本に伝播』

『大正9年(1920年)10月20日。当時三井銀行の重役であった米山梅吉が東京に創立』

『昭和38年(1963年)9月25日。34名のチャーターメンバーが水海道に創立する』

『令和元年(2019年)5月8日。創立56年の水海道RC通算2592回例会が開催される』

水海道RC第56代会長染谷秀雄会長は、ロータリアンとして在籍20年のキャリアを誇る会員です。ロータリーは「人生の道場である」とも言われますが、私たちのクラブには、その人生の道場に50年以上、40年以上通い続けてこられた会員がおられます。本日のインフォーマル・ミーティングは、北村仁会員、鈴木邦彦会員、松坂興一会員に「水海道RC これまで そして これから」について、卓話を賜ることとなりました。

5月は青少年奉仕月間

今年度入会なされました新会員の皆様には、ロータリアンとしての20年後、40年後、50年後の**未来のご自身の姿**を、どのように思い描かれるのでしょうか。

新会員の皆様を含め私たちは、水海道RC創立の昭和38年の『**そのころの未来に、今、生きています**』
只今より、新しい御代『令和』の幕開けとなる本日の例会「**インフォーマル・ミーティング**」を始めます。

北村 仁会員 「審議会について」



ロータリアンの皆さんは必ず**手続要覧**をお持ちだと思います、ロータリアンにとっては**行動規範**となるべき**大変重要な書物**です。

この**手続要覧**は3年ごとに見直しが行われて皆さんの手元に届けられます。この見直しの元となるのが3年に1度開かれる**規定審議会**と毎年オンラインで開催される**決議審議会**です。

本年度は丁度その年に当たり**規定審議会**が4月14日から4月18日迄シカゴにて開かれました。

当地区からは山崎PGが地区代表審議委員として出席致しております、山崎PGは2016年にも参加され本年2度目のお勤めになります。

議案の種類には **決議案**(理事会が検討するよう求めるもの)

制定案(ロータリーの組織規程に変更を加えるもの)

見解表明案(RI理事会の見解を表明するもの)

と概ね3種類の議案があります。

この結果採択されると本年7月1日より実行に移されます、日本語の改定**手続要覧**は毎回の事ですが12月か1月頃に各クラブに配布されます、この時間差が何時も問題になります。

こうした議案を提出できるのは、**クラブ**、**地区**、**RI理事会**、**RIBIの審議会**または**大会**です。

審議会には膨大な時間と費用が必要とされます、これを補うために各ロータリアンは毎年RIへ1ドル、地区に90円を拠出しております。

当クラブも将来議案検討委員会を設置し、我々が未来のロータリーを作るために議案を提出してみるのも如何でしょうか。

本年度は116件の議案が提出され、審議の結果が公表されております。マイロータリーを参照ください。

鈴木邦彦会員 水海道ロータリークラブ これまで そして これから



水海道ロータリークラブは、1963年(昭和38年)9月7日、クラブ設立準備会を開き、9月25日、クラブ創立総会を諏訪会館で行う。

1964年(昭和39年)1月28日、国際ロータリー加盟承認となる。2月5日、同承認の通知を受理する。

1964年(昭和39年)5月17日、国際ロータリー加盟承認伝達式が県立水海道一高講堂にて举行される。クラブ会員数35名、土浦ロータリークラブがホストクラブとなる。

創立4年目にして、水海道市の要望に応え、救急車1台を消防署に贈っているのには、驚かされる。

その翌年には境ロータリークラブのホストクラブとなり、梅沢会長が特別代表となることを決め、その翌年境ロータリークラブの認証状伝達式にクラブ会員・家族が出席して祝っている。

草創期の水海道ロータリークラブ会員のエネルギーには驚嘆するばかりである。

創立39年目に2001年～2002年の地区ガバナーを輩出することになる。北村ガバナー、松坂興一地区幹事、鈴木 豊会計長を中心にクラブ全員が一丸となって、地区に奉仕をした。

5月は青少年奉仕月間

水海道ロータリークラブ独自の国際奉仕として、1986年5月、オーストラリアのツウンバロータリークラブと友好関係を結び、以来、短期間の学生交換を今日迄続けている。

草創期から今日迄の当クラブの歩みを省みると、草創期のクラブ会員間の誠に良い人間関係から生まれたエネルギーが代々受け継がれたのではないかと考えている。

奉仕のエネルギーは、親睦から生まれると思う。クラブの親睦はクラブ例会で醸成される。異業種の一人一人の会員が、例会でお互いの相手を理解し合う人間関係にある。従って、会員の積極的な例会出席が大切かと考える。

そこで、創立から50年間の当クラブの出席率を調べたところ、平均95%弱であった。

この結果から、クラブ例会出席率が奉仕するエネルギーを生む大きな因子であることと考える。

例会に出席し、会員同士がお互いに尊敬を交わしながら、友情を深めることが大切である。

ロータリークラブは、奉仕する団体でなく、奉仕する人々の集まりであると言われている。

例会出席は奉仕であるとも言われている。

これからのクラブ運営に当たっては、例会出席はロータリーの基本活動であることを肝に銘じたいものである。

松坂興一会員 ロータリークラブの効用、効果について



私からは、“ロータリークラブの効用、効果”について話をしてみたいと思います。いったいロータリークラブに入会して、どのような効果があるのか？私の体験からお話してみたいと思います。

然しながら、あくまで私個人の体験でありますので、全ての方々に当てはまるかは分かりませんが、参考の一助になればと思うわけであります。まずは私のロータリーの略歴についてお話いたしますと、私は生まれも育ちも東京でして、それが昭和 42 年西暦で申せば 1967 年に水海道内守谷の地に、

水海道厚生病院を設立いたし、翌 43 年 10 月に開院にこぎ着けました。31 歳の時でした。

その 10 年後 16 代白井会長年度に武藤正之会員の推薦により、ロータリークラブに入会することとなりました。1978～79 年度のことであります。

従いまして、今年でロータリー歴 41 年目であります。

当時のことを思い出しますと、ロータリークラブの口の字も知らないままに入会したものですから、例会へ出席するのが苦痛以外の何物でもなく、水曜日が来るのが大変憂鬱でありました。

その当時のメンバーには、創立メンバーの皆さんが多数ご健在で、父親のような方々が多数いらっしゃいまして、私が 41 歳で一番若い会員でした。入会して 3 年目、18 代新井敏夫会長年度にいきなりプログラム委員長を仰せつかりました。

今日と同様、年間の例会プログラムを作成し、例会の進行を務めるわけですが、それまで何の役割もなく過ごしてきたのですから、唯々戸惑うばかりでしたが、結果的には委員長の役割を果たすことでロータリーに関心を持つきっかけとなった様です。新井会長さんは絵にかいたようなジェントルマンでして、本当に親切、丁寧にいろいろ教えていただき、何とか無事に努めることができました。と同時に先輩方とも話す機会も増えて、何となくロータリーが少しだけ、分かりかけて参りました。

それから 2 年後、創立 20 周年を迎えるわけですが、20 代会長増田三郎年度にどうゆうわけか運転手役を仰せつかり、雑務に携わりながら色々なところへ同行することになりました。

このことがロータリーを、様々な方向から見ることに繋がり、ロータリーへの理解が深まった様に思います。

そしてその 6 年後、26 代会長竹村菊雄年度のクラブ幹事を仰せつかり、と同時に創立 25 周年行事の準備も取り仕切ることになりました。

5月は青少年奉仕月間

然しながら、この年度は昭和天皇が崩御なされた事で、全て喪に服することとなり、記念式典等もすべて中止となりましたが、準備は行って参りましたので、大変勉強にはなりました。

それから9年後1997～98年度に35代会長を仰せつかり、その3年後に水海道ロータリークラブとして初めて北村会員がガバナーに推挙され、私が地区幹事を務めることとなりましたが、この年はガバナー補佐を務めていたので、地区幹事と二足の草鞋を履く事となりました。その為随分と勉強させて貰うと同時に、ロータリーを堪能させてもいただきました。今思えば、この時の体験は誠に得難いものがあり、多くの知己を得ることができ、後々私の最大の財産となりました。ロータリーに入会したことで日々積み重ねる中で得たものであります。そして今日に至っておるわけであります。

入会して間もないころでしたが、ロータリーの凄いところは先輩の会員の方々が、若輩の私を実に丁重に扱って頂いたことです。

言葉遣いといい、態度といい誠に丁寧であり、ジェントルマンとして扱って頂いたわけであります。

それと今一つは、何かいつも見られて居るといふか、観察されている感じでありました。その当時の私はと申しますと、生意気盛り、若気の至りで鼻柱ばかり強く、傲慢不遜、粗野、粗暴の徒としか申しようのないありさまでしたが、以後身嗜みについても常に気を付けるようになり、言動についても、心するようになりました。それにいたしましても一番凄いところは、何れについても何も言われぬと言うことです。誰も何事についても、一言も批判がましいことは、言われぬと言うことです。己れ自身で気付かなければ、間違ってもそのまま通ってしまうと言うことで、これは大変恐ろしいことです。決して指摘はしてくれません。常に“他人のふり見て、我が振り直せ”と言うことであり、いつでも己自身に問い掛けねばなりません。一見不親切にも見えますが、そこで気が付くことは、ロータリーは単に奉仕団体だけでなく、自己研鑽の場だと言うことです。己の受け止め方次第によっては、ロータリー全てが教師でありまた反面教師でもあると言うことです。そして己こそが自分自身に対する一番の観察者だと言うことを、気づかせてくれました。本当にロータリーは自分自身を磨く場所でした。

決して己を騙す事は出来ません。この事を知ったことが、ロータリーに入会しての最大の効用だったと思います。

その結果として私が心掛けたものは、先ず“忍耐”次に“寛容”そして“公平”で有ろうとしたことでした。

ロータリアンの大半は、従業員、職員等を抱える実業人であり、言うなれば一国一城の主であります。いずれも一家言を持っており実績を積み重ねておられます。その反面、全ての言動に責任を持たねばならず、何事も決定は己一人に掛かっており孤独であります。いつも心のどこかに不安を抱えているものです。

そこで私の場合、先に述べた三つの信条を持って処理するよう心掛けて参りました。

例えば、どうにも我慢しきれぬ相手に、決定的な一言を言わんとしたときに、待てよと一呼吸於いて明日も同じ様なら我慢をして一晚寝てみたら、冷静になれ言わずに良かったと言うことなど、又その我慢が元で、多少なりとも人に対して優しく接することで、思わぬ情報を得ることが出来たなど、又問題発生時に当事者間の話を聞く際に、立場の弱い者の方から話を聞くように心掛けることで、上手に解決出来たことなどロータリーに在ること、自然と身についたことがどれほど役に立った数知れません。これは当人がロータリーをただ単に社会的なステータスとか奉仕団体としか思うのではなく、人間形成の修業の場だと言うことで得られるものだと思います。

そのうえ数多くの得難い友人も得られるとなれば、週一回の例会出席は本当に得難い機会であると思います。

どうか皆さん、ロータリーを最大限に活用してください。

そして大いに楽しんでください。ご清聴有難う御座いました。

5月は青少年奉仕月間

出席報告 石塚克己委員

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
57名	44名	11名	2名	11名	100.00%

ニコニコボックス 前島 聡委員長 入金額 54,000円 累計 1,892,000円
誕生祝御礼《会員》青木(清)・石塚(利) 各会員 《ご夫人》大串会員
林 友超さん、ようこそ。北村 PG、松坂先輩、鈴木邦彦先生、本日よろしくお願ひします。 染谷(秀)会員
令和になりました。新しい気持ちで素晴らしい時代になりますように。 古矢会員
令和に変わり初めての例会で卓話することに恐縮しております。よろしくお願ひします。 鈴木(邦)会員
面白くもない話にお付き合いいただきありがとうございます。但し、私の話だけの事です。 北村(仁)会員
10連休には戸惑いましたが改元して令和の時代が穏やかで平和な時代でありますよう、祈念いたしております。 松坂会員
令和になりました。また新しい時代の幕開けです。 瀬戸会員
米山奨学生、林 友超君を1年間よろしくお願ひいたします。 秋田会員
米山奨学生の林さん、ようこそいらっしゃいました。これから1年間よろしくお願ひします。 鈴木(勝)会員
鈴木先生、松坂様、北村様、卓話楽しみにしています。また、前回地区からの表彰を頂きました。
島田会員

祝 令和 青木(英)会員
週報に顔写真が載りました。 青木(清)会員
地区表彰をもらいました。 大串会員
本日は、例会の撮影ということで弊社から2名来ております。宜しくお願ひ致します。 前島会員
早退します。 内村会員
例会欠席しました。 石井会員

会報委員会 石塚利明委員長 内村尚史副委員長 軽部良一委員

